

平成28年度第1回白馬村総合教育会議

日 時 平成28年7月26日(火)
午後3時00分から
場 所 白馬村役場3階 全員協議会室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協議事項
 - (1) ICT教育事業について

 - (2) 給食施設建設事業について

 - (3) 白馬高校支援事業について

 - (4) その他

4. そ の 他

5. 閉 会

平成 28 年 7 月 25 日

白馬村教育委員会 様

白馬中学校長 田中 守

パソコン・タブレット端末の活用状況について

白馬中学校での、パソコン・タブレット端末の活用状況は下記のとおりです。

記

◎各教科での活用状況 ※使用時間数は、単元（学習）・教科担任により差があります。
※学年の__はタブレット端末を活用した学習です。

国語ー (2年) 作文（意見文）の執筆・清書

(3年) 古典学習の発展学習でインターネットを使って調査活動

(2年) eライブラリー（学習サイト）を使って漢字のドリル学習

社会ー (2年) インターネットを使って調査活動

(2年) 学習の導入やまとめの段階で、それぞれの考えを見合う活動。（ミラード活用）

数学ー (1,2年) 「図形」の学習でシュミレーション教材を使い、空間把握

(1,2,3年) 「関数」の学習でグラフ作成

(2年) eライブラリー（学習サイト）を使ってドリル学習

理科ー (1,2,3年) 実験の結果をもとにグラフ作成

(1,2,3年) 物体の運動を撮影し観察

(1,2,3年) インターネット動画で動画を視聴

(1,2,3年) 原子のモデルを操作したり、地層の生成過程モデルを視聴したりして観察

体育ー (1,2,3年) 運動中の自分の動き、チームの動きを撮影して観察・検討

技術・家庭ー (1,2,3年) 導入の段階で画像や動画を見て、イメージや目当ての確認

(1,2,3年) 自分の動きを撮影して確認

(1,2,3年) 教師の試範を繰り返し再生して確認

英語ー (3年) 自分の話す姿を撮影して確認

(2,3年) 画像を提示しながら英語で説明（表現）

(3年) 自作の英作文を印刷

特別活動ー（生徒会）生徒集会用にスライドを作成しプレゼンテーション

総合的な学習の時間－（1,2,3年）インターネットを使って調査

（1,2,3年）白馬村の調査活動で画像を撮影。調査結果やまとめをプレゼンテーション

◎タブレット端末の配置

（現在～総合発表会まで）

2年－タブレット端末を1人1台ずつ所有。毎時間利用が可能。特別教室へ持参可能。

1,3年－予備のタブレット9台を共用。クラスで数台、あるいはグループで1台利用。パソコン室を利用。

（総合発表会后）

1,2,3年－各学年にタブレット端末を26台ずつ配置して、必要に応じて教室へ持って行き使用する。各階にある電子黒板と併用するなど、使用方法を研究していく。

信州型コミュニティースクールを活用した学校づくり

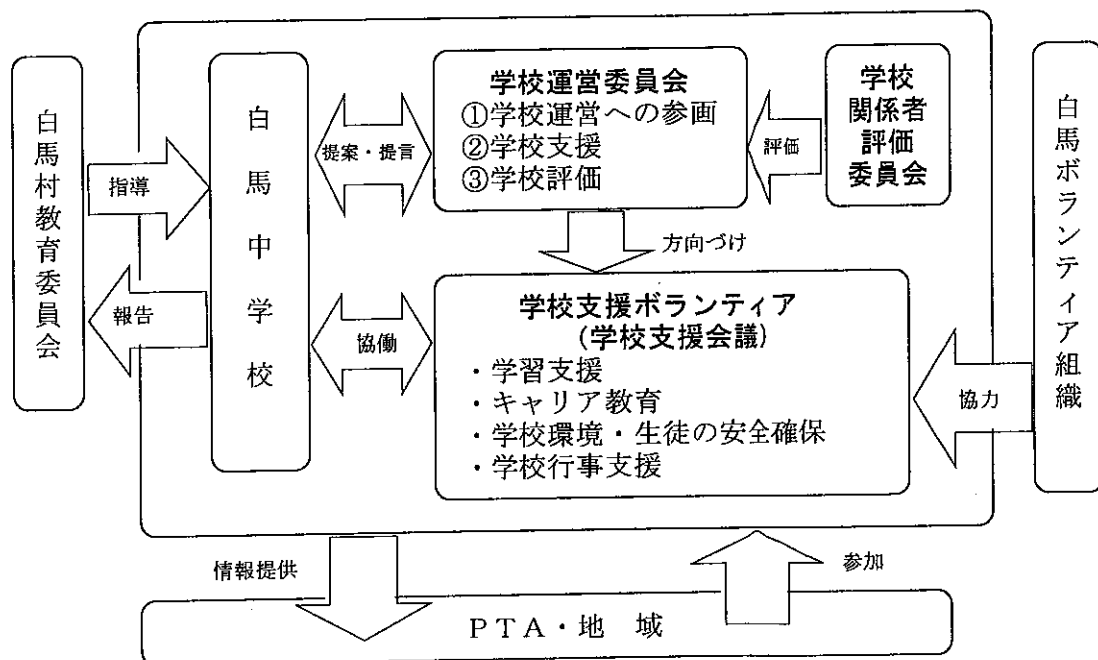
白馬村立白馬中学校

白馬村教育基本目標をうけて、本校の「生徒、教師、地域が創る21世紀型能力を育む『学ぶ学校』」を実現するために信州型コミュニティースクールを活用した学校づくりをすすめる。

これにより、次のような新たな学校と地域の関係を構築する。

- (1) 学校職員は3年程度で異動してしまうが、地域との協働による学校運営委員会があることで、確立してきた学校教育目標や教育環境を継続的に引き継ぎ、評価・修正を繰り返すことができ、持続可能な地域に開かれた学校づくりを進めることができる。
- (2) 地域の意見を学校運営に反映することにより、生徒にとってよりよい教育環境を実現する。
- (3) 地域の教育力を組織化することにより、生徒が多様な人との関わりが持て、豊かな体験学習や学習支援を受けることが継続的にできる。

学校づくりのイメージ



1 学校運営委員会の役割と組織

以下の役割と組織をもった学校運営委員会を機能させることで、本校の目指す『学ぶ学校』を充実させる。

(1) 3つの役割

- ①学校運営への参画
学校の重点目標、学校が抱える課題等、学校運営について話し合う場をもつ。そこで出された意見を、学校は有効な提案、提言として積極的に学校運営に生かす。
- ②学校支援
従来から行われている学習支援ボランティアを拡大、組織化し、方向付けをしたり、年間計画の作成、調整等を行ったりする。
- ③学校評価
学校関係者評価委員が評価した内容をもとに、それを学校運営に反映させる。

中学生と一緒に勉強しませんか 学習支援ボランティア募集

白馬中学校・白馬村教育委員会

白馬中学校では、昨年度より学習支援ボランティアによる学習を進めています。本年度も、放課後数学学習には、66名の生徒が参加し、ボランティアさんの指導のもと、楽しく学習を進めています。また、「英会話」、「信毎『斜面』書き写し添削」、「朝読書読み聞かせ」、「白馬カルチャークラブ（茶道、書道）」も地域の皆様のご協力により、継続して行っています。

本年度は、更に生徒の学習を充実させるために、以下の3つの講座で、学習支援ボランティアを追加募集します。ご協力をお願いいたします。

放課後学習講師 (数学)

□授業で理解が不十分な点などの補充学習を実施します。プリントは学校で準備します。生徒の質問に答え、説明をお願いします。

■月2回（第1・3水曜日の放課後
15:00~16:30）

現在5名のボランティアの方が
支援してくださっています。



放課後学習講師 (英会話)

一緒に学びたい方のご参加も
大歓迎です！

□白馬村在住の英語が母国語である方々と、机もイスも筆記用具もない環境で全学年一緒に英会話を楽しみます。

■月1回（最終水曜日の放課後
15:00~16:00）

本年度から※HIBAの方々にも
ご協力をいただきます！

書き写し添削 (信毎「斜面」)

□生徒は信濃毎日新聞の「斜面」を専用ノートに書き写し、感想を書いてきます。書き写しの間違いを添削し、コメントを入れます。

■月2回
(第1・3水曜日の9:00~12:00)
ご都合のつく時間帯で結構です。

現在6名のボランティアの方が
支援してくださっています。

本年度、白馬中学校では、信州型コミュニティスクールの組織化を計画しています。

※HIBA:Hakuba International Business Association（白馬村在住の外国人経営者の皆さん）

学習支援ボランティア 申し込み方法

1 白馬中学校学習支援ボランティア登録申込書に記入し、白馬中学校へ提出ください
※直接学校へ持参いただいても結構ですし、FAX、メールでも結構です

※申込期限 平成28年7月29日（金）

2 簡単な面接など経て、白馬中学校学習支援ボランティアを委嘱します

お問い合わせ：白馬中学校 教頭 早川正美 ☎0261-72-2026

申込先：白馬中学校 FAX 0261-72-4863 E-mail: hakubac@janis.or.jp

インターナショナル・スクール

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

インターナショナル・スクール (英語: International school) とは、国際バカロレア資格を持つような国際的な教育を行っている学校や、所在する国や地域における外国人を対象にした教育を行っている学校である。

日本においては法令上の定義や規定はないが、文部科学省の中央教育審議会はインターナショナルスクールについて、「主に英語により授業が行われ、外国人児童生徒を対象とする教育施設」、と捉えるのが一般的であるとの見解を示している^[1]。

目次

- 1 日本におけるインターナショナルスクール
 - 1.1 上級学校への進学
 - 1.2 二重国籍者に対する特例
 - 1.3 統計
 - 1.4 歴史
 - 1.5 国際バカロレア
- 2 脚注
- 3 関連項目
- 4 外部リンク

日本におけるインターナショナルスクール

インターナショナルスクールとして認識されている施設では、一部のものが学校教育法第83条に基づく「各種学校」として都道府県知事の認可を受けているものの、その他の多くは無認可校である^[1]。認可されている施設は全国に125校あり^[2]、その他の施設については、文部科学省として数や実態を把握していないという^[1]。

また、認可校についてもあくまでも「各種学校」であるため、日本人児童が通っても就学義務の履行とは認められない^[1]。すなわち、小学校や中学校に相当する課程で学んでも、義務教育を終えたことにはならない^[3]。

教育課程については、いずれの場合においても学習指導要領には拘束されず、各校独自の方針により編成されることになる。

上級学校への進学



清泉インターナショナルスクール

中学校相当のインターナショナルスクールを終了しても学校教育法上の中学校を卒業したことにはならないため、公立高校では原則として受験資格が認められず、私立高校においては各校の判断次第となっている^[3]。

一方、文部科学省が「高校相当」とした学校や大学、国際的な評価団体が認めた学校の卒業生らには、大学への入学資格が認められている^[3]。

二重国籍者に対する特例

二重国籍者については、「家庭事情等から客観的に将来外国の国籍を選択する可能性が強いと認められ、かつ、他に教育を受ける機会が確保されていると認められる事由があるとき」には、保護者と十分協議の上、就学義務の猶予または免除を認めることができる」との通達が、昭和59年に文部省(当時)からなされている^[1]。

統計

インターナショナルスクールのうち、各種学校として認可されている施設は全国で117校、そのうち主に英語で教育を行っている施設が24校、その他の施設が93校となっている(平成17年5月1日現在)^[1]。

歴史

国内最古参である1872年(明治5年)創立のSaint Maur(サンモール)を筆頭に1902年(明治35年)や明治時代に開学し、2000年(平成12年)に廃校となったセント・ジョセフ・インターナショナル・カレッジ(神奈川県)は「老舗」校、1990年代以降に設立された「新設」校、そして新旧混交ではあるが保育園や幼稚園のみで成り立っている「プリスクール」となる。古くから存在するインターナショナル・スクールはクラブ活動など、学校間の交流・関係も深いが、新しい「新設」インターナショナル・スクールは他校との交流・関係を持っていないことが比較的多い。また、急速に数が増えてきたプリスクールの多くも、他のスクールとの交流・関係を持っていないことが多い。

1924年には横浜の国際ビジネスコミュニティにより横浜インターナショナルスクールが設立される。世界で二番目に『インターナショナル』と称した学校であり、関東では高校においては唯一の男女共学、無宗教のインターナショナルスクールである。(なお、同じ1924年設立だがタッチの差で世界で最初に『インターナショナル』と称した学校はジュネーヴ・インターナショナル・スクールである。)

21世紀に入って、文部科学省がインターナショナル・スクールや外国人学校の卒業者について日本の大学の受験資格を認める等の流れがある。最近では、千葉県海浜幕張地区に2009年(平成21年)4月に開校した幕張インターナショナルスクールのようにインターナショナルスクールでありながら、学校教育法第1条に定められる学校としての認可を得た学校もある。

国際バカロレア

詳細は「国際バカロレア」を参照

国際バカロレアは、国際的な修了資格の代表的なものであり、スイスのディプロマプログラムである。日本にあるインターナショナル・スクールのうち、国際バカロレアに参加している学校は以下の通りである。

- 同志社インターナショナルスクール(国際学院国際学部)(京都府)- Diploma (Primary Years 候補校、今後Middle Years追加予定)
- つくばインターナショナルスクール(TIS)(茨城県)- Primary Years
- 清泉インターナショナル学園(東京都)-Diploma
- セント・メリーズ・インターナショナル・スクール(SMIS)(東京都)-Diploma
- 東京インターナショナルスクール(東京都)-Primary Years
- カナディアンインターナショナルスクール(CIS)(東京都)
- K・インターナショナルスクール(KIST)(東京都)-Diploma, Middle Years, Primary Years

- 東京学芸大学附属国際中等教育学校 (ISS) (東京都) -Middle Years
- 横浜インターナショナルスクール (YIS) (神奈川県) -Diploma, Primary Years
- サンモール・インターナショナルスクール (Saint Maur International School) (神奈川県) -Diploma
- インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 (ISAK) (長野県) -Diploma
- 名古屋国際学園 (愛知県) -Diploma
- 京都インターナショナルスクール (KIS) (京都府) -Primary Years
- 立命館宇治高等学校 (京都府) -Diploma
- 関西学院大阪インターナショナルスクール (OIS) (大阪府) -Diploma, Middle Years, Primary Years
- 大阪YMCAインターナショナルスクール (OYIS) (大阪府) -Primary Years
- カナディアンアカデミー (Canacad) (兵庫県) -Diploma, Middle Years
- 神戸ドイツ学院 (Dskobe) (兵庫県) -Primary Years
- 広島インターナショナルスクール (広島県) -Diploma, Primary Years
- 福岡インターナショナルスクール (FIS) (福岡県) -Diploma
- オキナワインターナショナルスクール (OIS) 沖縄県 -Primary Years

また、WASC (Western Association of Schools and Colleges、米国・西部学校大学協会)、CIS (Council of International Schools、英国・インターナショナルスクール会議)、ACSI (Association of Christian Schools International、キリスト教学校国際協会)などの国際的な教育認定団体が認める認定校も日本全国に点在する。これらも、世界的な資格として有用とされる。日本では、学校教育法第56条に基づく告示によって、WASC、CIS、ACSIの認定校で12年の課程を修了した18歳以上の者には、大学入学資格 (高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者) が認められる。

脚注

1. ^{^ a b c d e f} インターナショナルスクール等の現状について (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryu/06042105/007.htm) 文部科学省、平成23年8月20日閲覧
2. [^] インターナショナルスクール (外国人学校) (http://kotobank.jp/word/%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%8A%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%8A%E3%83%AB%E3%82%B9%E3%82%AF%E3%83%BC%E3%83%AB%EF%BC%88%E5%A4%96%E5%9B%BD%E4%BA%BA%E5%AD%A6%E6%A0%A1%EF%BC%89) kotobank.com 朝日新聞社、平成23年8月20日閲覧
3. ^{^ a b c} キーワード「インターナショナルスクール (外国人学校) 『朝日新聞』 平成23年8月10日朝刊 教育面

関連項目

- 外国人学校

外部リンク

- 国際バカロレア (International Baccalaureate) の公式サイト (http://www.ibo.org/)
- ECIS (European Council of International Schools) (http://www.ecis.org/)
- CIS (Council of International Schools) (http://www.cois.org/)
- インターナショナルスクールナビ (http://www.ins-navi.com/)
- インターナショナルスクールタイムズ (http://istimes.net/)

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=インターナショナル・スクール&oldid=58565134」から取得

カテゴリ: インターナショナル・スクール 学校教育 外国人

- 最終更新 2016年2月10日 (水) 14:36 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。

ω

- テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。

国際バカロレアの認定校

(平成28年6月1日現在)

(1) 世界における国際バカロレア認定校数

140以上の国・地域 4,569校

うち PYP実施校 1,396校 (21校)
 MYP実施校 1,286校 (9校)
 DP実施校 3,066校 (26校)
 CP実施校 113校 (-校)

※()内は、日本国内の認定校数。

※1校で複数のプログラムを実施している学校があるため、プログラムごとの学校数の合計は全体の学校数と一致しない。

(2) 日本国内の国際バカロレア認定校

	学校名	PYP	MYP	DP	CP
1	※仙台育英学園高等学校(宮城県)			○	
2	つくばインターナショナルスクール(茨城県)	○	○		
3	※ぐんま国際アカデミー(群馬県)			○	
4	アオバジャパン・インターナショナルスクール(東京都)	○		○	
5	インディア・インターナショナルスクール・イン・ジャパン(東京都)			○	
6	カナディアン・インターナショナルスクール(東京都)	○			
7	K・インターナショナルスクール(東京都)	○	○	○	
8	神宮前小学校国際交流学級(東京都)	○			
9	清泉インターナショナルスクール(東京都)	○		○	
10	セント・メリーズ・インターナショナルスクール(東京都)			○	
11	※玉川学園(東京都)		○	○	
12	東京インターナショナルスクール(東京都)	○	○		
13	※東京学芸大学附属国際中等教育学校(東京都)		○	○	
14	※東京都立国際高等学校(東京都)			○	
15	みずほスクール(東京都)	○			
16	※インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢(長野県)			○	
17	サンモール・インターナショナルスクール(神奈川県)			○	
18	ホライゾン・ジャパン・インターナショナル・スクール(神奈川県)			○	
19	横浜インターナショナルスクール(神奈川県)	○	○	○	
20	※サニーサイドインターナショナルスクール(岐阜県)	○			
21	※加藤学園暁秀高等学校・中学校(静岡県)		○	○	

22	名古屋国際学園(愛知県)	○		○	
23	※名古屋国際中学校・高等学校(愛知県)			○	
24	京都インターナショナルスクール(京都府)	○			
25	同志社国際学院(京都府)	○		○	
26	※立命館宇治高等学校(京都府)			○	
27	大阪YMCAインターナショナルスクール(大阪府)	○			
28	関西学院大阪インターナショナルスクール(大阪府)	○	○	○	
29	カナディアン・アカデミー(兵庫県)	○	○	○	
30	関西国際学園(兵庫県)	○			
31	神戸ドイツ学院(兵庫県)	○			
32	※AIGJ高等学校(広島県)			○	
33	広島インターナショナルスクール(広島県)	○		○	
34	福岡インターナショナルスクール(福岡県)	○		○	
35	※リンデンホールスクール中高学部(福岡県)			○	
36	沖縄インターナショナルスクール(沖縄県)	○			
37	※沖縄尚学高等学校(沖縄県)			○	
	合計	21校	9校	26校	0校

※…学校教育法第1条に規定されている学校

お問合せ先

大臣官房国際課国際協力企画室

電話番号:03-5253-4111(内線3222)

(大臣官房国際課)

—登録:平成27年05月—